

10月に入りました。インフルエンザ予防接種開始時期となりましたが、皆さんの周りにインフルエンザの発症はいかがでしょうか。少し増えてきている傾向もみられるようですが、先日、ある高校で、学級閉鎖という状況をお聞きしました。

コロナウイルス感染も続いておりますが、新型コロナ「定点把握」データから、全国では、2023/9/11～9/17：17.54人 2023/9/18～9/24：11.01人となっておりますが、やはり種々気をつけるに越したことはないですね。ダブルパンチにならないように、留意していきたいと思います。暑さも大変でしたが、寒さにむけて少し鍛えていかないと…ですね。

10月のスケジュール表を添付いたします。ご査収ください。

どうぞ宜しくお願いいたします。(菅野)

目次

- 1 「令和5年版 労働経済の分析」(労働経済白書)を公表します
～分析テーマは「持続的な賃上げに向けて」～
- 2 第7回がんの緩和ケアに係る部会(資料)
- 3 日本医師会認定産業医制度研修会の単位シール販売について | 厚生労働省
- 4 関連情報

- 1 「令和5年版 労働経済の分析」(労働経済白書)を公表します
～分析テーマは「持続的な賃上げに向けて」～

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=8xTZlQYkbBIBxnthY>

労働経済白書は、一般経済や雇用、労働時間などの現状や課題について、統計データを活用して分析する報告書で、今回で74回目の公表となります。

【白書の主なポイント】

- ・1990年代後半以降わが国の一人あたり名目賃金が伸び悩んだのは、(1)名目生産性が他国と比べて伸び悩み、(2)パートタイム労働者の増加等により一人あたり労働時間が減少し、(3)労働分配率が低下傾向にあったことが背景にある。
- ・詳細に分析すると、企業の利益処分の変化、労使間の交渉力の変化、雇用者の構成変化日本型雇用慣行の変容、労働者のニーズの多様化等が影響した可能性が考えられる。
- ・賃上げは、企業にとっては、求人への応募を増やす、離職率を低下させる等の効果が、労働者にとっては、仕事の満足度を高める等の効果がある。また、経済全体では、消費や生産等を増加させる効果がある。
- ・最低賃金の引上げは、最低賃金近傍だけではなく、賃金水準が中位に位置するパートタイム労働者にも効果が及ぶ可能性がある。また、同一労働同一賃金の施行は、正規と非正規雇用労働者の時給差を10%程度縮小させる等の効果があった可能性がある。

【概要】令和5年版 労働経済の分析 [PDF形式：1021KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/12602000/001149098.pdf>

【本文】令和5年版 労働経済の分析

<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/roudou/23/23-1.html>

2 第7回がんの緩和ケアに係る部会（資料）

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=U7Re6chShW0-PVzBY>

[議事次第 \[PDF 形式：63KB\]](#)

[【資料1】 「がんの緩和ケアに係る部会」における議題 \[PDF 形式：320KB\]](#)

[【資料2】 第4期がん対策推進基本計画における緩和ケア \[PDF 形式：735KB\]](#)

[【資料3】 第4期がん対策推進基本計画におけるロジックモデルについて（木澤構成員）
\[PDF 形式：940KB\]](#)

[【資料4】 緩和ケアに関するロジックモデルと緩和ケアの提供体制の課題について（小川構成員） \[PDF 形式：1.1MB\]](#)

[【資料5】 緩和ケア研修会について \[PDF 形式：918KB\]](#)

[【資料6】 日本緩和医療学会が取り組んでいる緩和ケア研修会等関連内容について（下山参考人） \[PDF 形式：1.1MB\]](#)

[【参考資料1】 がんの緩和ケアに係る部会開催要綱 \[PDF 形式：151KB\]](#)

[【参考資料2】 「がんの緩和ケアに係る部会」における議題の整理（案） \[PDF 形式：487KB\]](#) [【参考資料3】 第4期がん対策推進基本計画（緩和ケア抜粋） \[PDF 形式：572KB\]](#)

[【参考資料4】 診断時の緩和ケア \[PDF 形式：471KB\]](#)

[【参考資料5】 病状、治療方針とあわせて、医療チームからお伝えしたいこと \[PDF 形式：404KB\]](#)

[【参考資料6】 痛みへの対応について \[PDF 形式：779KB\]](#)

○第15回今後のがん研究のあり方に関する有識者会議（資料）

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=5wDu7VlqQQramkh1Y>

- [議事次第 \[PDF 形式：51KB\]](#)
- [資料1_「今後のがん研究のあり方について」報告書案 \[PDF 形式：635KB\]](#)

3 日本医師会認定産業医制度研修会の単位シール販売について | 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_35388.html

* 荒川輝雄先生（東京産業保健総合支援センター）9/27に情報提供有難うございました。

昨日の朝刊で見出しのニュースがありました。検索してみると、厚生労働省の新着情報として25日（月）に掲載されていました。すでにご承知かもしれませんが、参考にお知らせします。

【抜粋】 厚労省の発表における日医の発表文

日本医師会では再発防止に向けた対応策として、単位をシール形式で受講者に付与する場合には、番号等が入った単位シールを作成の上、番号と受講日から受講者を照合できるように管理すること、あるいは受講者名を印字した単位シールを使用することを主催者に求める通知を本日、都道府県医師会宛に発出いたしました。

○認定産業医の「単位シール」フリマサイトに 日本医師会、警察に相談 | 毎日新聞

<https://mainichi.jp/articles/20230926/k00/00m/040/019000c>

○産業医研修の単位シール「フリマで販売」発覚 - 日医の認定制度、「断じて容認できない」 (医療介護CBニュース) - Yahoo!ニュース

<https://news.yahoo.co.jp/articles/580ecd048344c9042fd37eb6fc07e7289cc1becf>

(別添) ◆【From_M】からの追加情報提供です。

日本医師会認定産業医制度研修会の単位シール販売について [178KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/001149441.pdf>

(別添参考資料) 認定産業医の手引 [175KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/001149432.pdf>

(参考資料) 産業医制度の概要 [311KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/001149017.pdf>

令和5年9月25日付け基発0925第1号「日本医師会認定産業医制度の単位シールがインターネット上で販売されていた件について」 [68KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/001149018.pdf>

4 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

(1)大臣会見等 ・ 令和5年9月29日付大臣会見概要

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=Pdo8GplQW4PNKmWvY>

(2)【広報誌「厚生労働」のご紹介はこちらから】

ウェブでも記事の一部を公開しています。

https://www.mhlw.go.jp/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/

▶特集

[あなたの気持ち、行動に移しませんか よし！自分も「臓器提供」について考えよう！](#)

Part1：今年度は過去最高の提供ペースで推移

日本の「臓器提供」の最新事情

Part2：筑波大学附属病院高度救命救急センターでの「臓器提供」

Part3：ドナー家族と心臓移植手術経験者の思い

Part4：「臓器提供」の意思表示はこうします

▶TOPICS [長引く咳や体のだるさに隠れている「結核」を正しく知ろう](#)

(3) 年取の壁・支援強化パッケージについて

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=F_AY49LZmCGiePuFY

○[いわゆる「年取の壁」への当面の対応について](#) [371KB]

(令和5年9月27日 全世代型社会保障構築本部決定)

<一部抜粋>

このため、当面の対応として、本年 10 月から、

1. 106 万円の壁への対応（①キャリアアップ助成金のコースの新設
②社会 保険適用促進手当の標準報酬算定除外）
2. 130 万円の壁への対応（③事業主の証明による被扶養者認定の円滑化）
3. 配偶者手当への対応（④企業の配偶者手当の見直し促進）を進め、年収の壁を意識せず働くことのできる環境づくりを後押しするとともに、さらに、制度の見直しに取り組む。

このほか、設備投資等により事業場内最低賃金の引上げに取り組む中小企業等に対する助成金（業務改善助成金）の活用も促進する。

○ 「年収の壁」への当面の対応策 [3.8MB]

*（年収の壁・支援強化パッケージ）概要

<https://www.mhlw.go.jp/content/12500000/001150837.pdf>

○ いわゆる「年収の壁」への対応 HP

(4) 第 29 回アルコール健康障害対策関係者会議（資料）

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=L8gssieWZH61ely9Y>

(5) 新しい時代の働き方に関する研究会 第 14 回資料

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=Q6RA3kv6CBLZFjfrY>

資料 1 [PDF 形式：1.1MB]

参考資料 1 [PDF 形式：491KB]

参考資料 2 [PDF 形式：6.3MB]

(6) 令和 5 年度保健師活動領域調査（領域調査）の結果について

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=2zzbvS4MRDFp7IIJY>

（結果の概要）報道発表資料 [152KB]

令和 5 年度 保健師活動領域調査（領域調査）結果の概況 [382KB]

(7) 10 月は「年次有給休暇取得促進期間」です

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=P9g_WcrooNWNcQytY

◇ J I L P T から

(1) 第 3 号被保険者制度と「年収の壁」など議論／厚労省社保審年金部会

厚生労働省は 21 日、社会保障審議会年金部会を開催し、第 3 号被保険者制度と、短時間労働者の就労調整の要因とされる「年収の壁」等について議論した。第 3 号被保険者については、「被用者保険の適用拡大を進め、制度の縮小・見直しに向けたステップを踏んでいくことが必要」（資料 1・22 頁等）などとし、「年収の壁」については、「106 万円」、「130 万円」の壁の解消に向けた対応例（資料 2・21 頁以下）などを示した。

検討の視点としては、「負担についての公平性」「社会保険料の労使折半負担の原則との

整合性・事業主の理解」「他の被保険者との公平性」を提示。単に手取り収入が減収しない仕組みとした場合、負担や給付面での不公平や新たな壁の発生といった課題が生じるため、これに対応する仕組みを検討するには多様な論点があるとしている。

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/nenkin_230921.html

(資料1・第3号被保険者制度)

<https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/001148320.pdf>

(資料2・「年収の壁」関係)

<https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/001148321.pdf>

(参考) JILPT 記者発表資料 (2023年5月16日)「社会保険の適用拡大への対応状況等に関する調査」及び「働き方に関するアンケート調査」結果

<https://www.jil.go.jp/press/documents/20230516.pdf>

(2) 「連合総研フォーラム—持続的な賃上げにつながる社会経済の構築へ—」／連合総研

連合総研は10月26日(木)に「第35回 連合総研フォーラム—持続的な賃上げにつながる社会経済の構築へ—」をオンライン (Zoom ウェビナー) で開催する。基調講演とパネルディスカッションにより、日本経済と雇用・賃金の状況について分析し、持続的な賃上げにつながる社会経済システム構築のための課題について議論する。

参加無料・要申込 (定員になり次第締切)。

<https://www.rengo-soken.or.jp/info/2023/09/221000.html>

(3) 副業・兼業推進のための割増賃金規制見直し等を提起／経団連規制改革要望

経団連は12日、「2023年度規制改革要望—日本経済にダイナミズムを取り戻す」を公表した。柱として「GX・サーキュラーエコノミー (CE)」「DX」「成長産業の振興」とともに「人の活躍」をあげた。副業先での就労時間で割増賃金が発生することが副業・兼業を推進するうえでハードルとなっているとし、割増賃金計算において、本業と副業・兼業の事業場での労働時間を通算しないこと、介護の両立支援等に資するため深夜労働の割増賃金規制を見直すこと等を求めている。

<https://www.keidanren.or.jp/policy/2023/061.html>

(4) 調査シリーズ No.231 『副業者の就業実態に関する調査』

<https://www.jil.go.jp/institute/research/2023/231.html?mm=1903>

(5) 『日本労働研究雑誌』10月号を刊行しました！ 特集「公務員の職務と働き方」

公務労働は全ての人の生活にかかわる重要な労働で、公務員制度改革はこれまで幾度も行われてきました。本特集では、異動により職務が多岐にわたる可能性が高く、職務内容が社会情勢に影響されやすい一般行政職に焦点を当て、民間部門とは異なる特性に着目し、そこから生じる公務員の職務、職業倫理、働き方、労使関係、地位、人事異動、採用活動に関する課題を明らかにします。

<https://www.jil.go.jp/institute/zassi/backnumber/2023/10/index.html?mm=1903>

(6)『ビジネス・レーバー・トレンド』10月号を公開しました！「社員が成長する会社」

本号では、社員が成長しやすい職場環境を整え、成長を積極的に応援する企業の事例とともに、企業・労働者の能力開発に関する最新の調査結果、また、働きやすい職場の整備が急がれる国家公務員を巡る動向などを紹介し、働く人が主体的に能力を伸ばしながら成長できる職場づくりに向けたヒントを提示します。

<https://www.jil.go.jp/kokunai/blt/backnumber/2023/10/index.html?mm=1903>

◇ ◆【From_M】 から 情報提供ありがとうございます

◆一般社団法人 日本産業精神保健学会 産業精神保健 2023年31巻3号

特集 職場での適用が期待される心理社会的介入の数々

○特集にあたって 佐渡 充洋

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.3_115

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/3/31_115/_pdf/-char/ja

○認知行動療法の活用の可能性 大野 裕

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.3_117

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/3/31_117/_pdf/-char/ja

○マインドフルネスプログラムの職域における活用可能性

山田 成志, 佐渡 充洋

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.3_121

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/3/31_121/_pdf/-char/ja

○アクセプタンス&コミットメント・セラピーの職場での活用の可能性

伊井 俊貴

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.3_127

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/3/31_127/_pdf/-char/ja

○職場での心理社会的介入におけるポジティブ心理学の活用

ーワーク・エンゲイジメントに注目してー 島津 明人

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.3_132

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/3/31_132/_pdf/-char/ja

○セルフ・コンパッションに焦点を当てた心理学的介入とその職場での活用方法

有光 興記

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.3_138

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/3/31_138/_pdf/-char/ja

○産業精神保健における森田療法の活用の可能性 新村 秀人

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.3_143

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/3/31_143/_pdf/-char/ja

○リワークにおける心理社会的介入の実際 有馬 秀晃

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.3_148

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/3/31_148/_pdf/-char/ja

○軍隊等における心的外傷後成長の促進要因に関するナラティブレビュー

小森 國寿, 大塚 泰正

DOI https://doi.org/10.57339/jjomh.31.3_156

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjomh/31/3/31_156/_pdf/-char/ja

◆医師・公認心理師と連携しメンタルヘルス対策推進 -

徳島県が政策集を公表、フレイル・認知症対策も 医療介護CBニュース

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ea5ca58e535e981fb89cfc100a901532639f0035>

徳島県は、「徳島新未来創生」政策集を公表した。「17の戦略」を提示しており、教育に関する戦略では、医師や公認心理師などの専門家とも連携し、メンタルヘルス対策事業を組織的・計画的に推進する方向性を示している。

◆従業員のエンゲージメントを測定するパルスサーベイ 『Well-being Company Survey』

の無償提供開始～組織の幸福度や心理的安全性などを可視化～PHONE APPLI

<https://www.jiji.com/jc/article?k=000000226.000017441&g=prt>

◆超高齢化の課題に関する国際フォーラム | 日経新聞

<https://www.global-nikkei.com/ifsa/23/>

開催日時：2023年11月20日（月）9:00～17:40

2023年11月21日（火）10:00～12:20 *予定 <11月21日（火）ライブ配信>

開催方法：2023年11月20日（月）会場聴講&ライブ配信でのハイブリッド開催

イノホール&カンファレンスセンター（東京都千代田区内幸町2丁目1-1）

◆我が国における公衆衛生学的観点からの健康診査の評価と課題

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/162420>

◆一般社団法人日本職業・災害医学会 Vol.71 No.5

○睡眠時無呼吸症候群に対するCPAPのアドヒアランスと精神的ストレス・職業ストレスとの関連についての検討

石井 達也, 堂阪 啓起, 瓜生 拓夢, 仲田 庄志, 井上 信孝

日職災医誌, 71: 153-158, 2023

<http://www.jsomt.jp/journal/pdf/071050153.pdf>

○中小企業における治療と仕事の両立支援に関する従業員自身の認知・姿勢に関連する

要因 安部 仁美, 錦戸 典子 日職災医誌, 71: 166-174, 2023

<http://www.jsomt.jp/journal/pdf/071050166.pdf>

◆介護現場における感染対策の手引き（第3版）：厚生労働省 令和5年9月

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001149870.pdf>

◆「馬子にも衣装」「藁にもすがる」…褒めたつもりだったのに！

みんなが「褒め言葉じゃなくて青ざめた」比喩表現ワースト5

<https://news.yahoo.co.jp/articles/edb65324e9358d1103d4171a6a1c1c86a8b19248>

- ◆「大事な書類をシュレッダーに」…失敗続き、 転職 20 回以上
ADHD のトランスジェンダーがもがきながら見つけた「本当のポジティブ思考」
<https://news.yahoo.co.jp/articles/7fb94e5cbc69387c8f082398a68c64dd2666fcdc>
- ◆視覚障害者の職場定着推進マニュアル（1999 年 3 月初版、2023 年 3 月改訂）：
高齢・障害・求職者雇用支援機構
<https://www.jeed.go.jp/disability/data/handbook/kakudai12/#page=43>
- ◆全国の就業者 10 万人を対象とした「はたらく定点調査」に見る Z 世代の就労意識
～転職するが起業はしない。休暇は自分の記念日や趣味のためにとる。
ビールを勝手に注がれるのはハラスメント～：パーソルホールディングス
<https://www.jiji.com/jc/article?k=000000811.000016451&g=prt>
- ◆2021 年度の「がん医療費」は医科医療費全体の 12.1%、疾患別の「トップシェア」を
占めている一健保連
<https://gemmed.ghc-j.com/?p=56527>

小野田 富貴子（両立支援担当）
fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp

中山 篤 （メンタルヘルス担当）
atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子（メンタルヘルス担当）
yukikan28@gmail.com